

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 2907 号	氏名	黒田 拓馬
論文審査担当者	主査 木内 祐二 副査 後閑 武彦 副査 泉崎 雅彦		
(論文審査の要旨)			
<p>QCT (quantitative computed tomography)による Quadrant 解析を用いて 1 型糖尿病患者の大腿骨頸部を解析した。対象は 50 歳以下の 1 型糖尿病男性群 17 名と、対照群の健常男性 18 名とした。CT データを元に、大腿骨頸部領域を 4 領域に分割し、骨パラメータを比較検討した。さらに IGF-1、年齢それぞれと骨パラメータとの相関関係を調査した。</p> <p>1 型糖尿病群は上方領域において皮質骨厚の低下、皮質骨骨密度の有意な低下を認めた。また、IGF-1 は 1 型糖尿病群の上方領域のみで骨パラメータとの相関関係を認めた。健常者では年齢との逆相関を認めたが、1 型糖尿病群では相関関係を認めなかった。1 型糖尿病患者は大腿骨頸部の上方領域の特異的骨脆弱性を認め、IGF-1 は上方領域に重要な役割を果たしていること示唆された。また、1 型糖尿病患者は若年からの骨脆弱性を認めるものの、年齢による変化は乏しいと思われた。</p> <p>本研究は 1 型糖尿病患者の大腿骨頸部領域に関する新知見であり高い学術的価値を有し、学位論文に値すると判断した。</p>			
<p>論文題名 : Quadrant analysis of quantitative computed tomography scans of the femoral neck reveals superior region-specific weakness in young and middle-aged men with type 1 diabetes mellitus</p> <p>(中若年 1 型糖尿病男性患者は大腿骨頸部上方領域の骨脆弱性を示す～QCT による大腿骨頸部 Quadrant 解析～)</p>			
<p>掲載雑誌名 : Journal of Clinical Densitometry 2017 年 (掲載予定)</p>			

(主査が記載、500 字以内)